

全校生のみなさんへ

全国でいじめがなくならず、大切な大切な命や心がきずつけられて苦しんでいる人がいます。とてもつらく胸がしめつけられます。

いじめは、絶対に許しません。決して許されるものではありません。

なぜいじめがいけないことなのか

①いじめとは、なぐる、けるなどの力の暴力や相手がいやがることを言っ
てきずつける言葉の暴力などで相手を攻撃し、相手の心を深くきずつ
けてしまうこと

②いじめとは、お互いの思いやりに満ちた優しい心を氷づけにしてしまう
とともに、いじめた人の心に悪の心を植え付けてしまうこと

③世界中の人々が守り育てている、自由や平等、幸せ、公正、正義な
ど、とても大切なものをふみにじること

④大人や先生が見ていないところでやる、最も卑怯で、最も弱虫で、最
も醜くて、最も汚いこと

いじめは決してしてはいけないことです。国の法律「いじめ防止対策推進
法」の第4条に「児童等は、いじめを行ってはならない。」と決められていま
す。いじめは、法律違反です。

いじめは絶対に許しません。学校とお父さんお母さん方、地域の方々と、
いじめを出さないために力を合わせていくことを今年も確認しあいました。児
童会でも昨年度末いじめ撲滅宣言を行い、児童のみなさん一人一人がいじ
めをしない決意をカードに書いてくれました。

でも、人は、とても弱い生き物です。いらいらした気持ちが大きくなった時、
おもしろくないことが続いた時、頭にきた時など、自分勝手になってしまい、
自分の優しい心が悪い心に征服され、相手の気持ちを思いやることができ
なくなり、相手を攻撃して、相手を深くきずつけてしまうのです。誰でもそうで
す。大人にだってあります。

誰もが、まだまだ弱い不安な心を持っています。だからこそ、心を育ててくれる仲間が必要なのです。何でも言い合えるクラスや学年の仲間が必要なのです。一人で悩んでいないで、誰にでもいいです。打ち明けてください。

そして、先生やお家の人に教えてください。必ずいじめを見ぬき、みんなをいじめから守ります。解決後もしかえしやかけにかくれてのいじめにあわないよう、全力で見守り続けます。

誰もが、この宇宙で一番光り輝いている、大切な大切な命です。親や祖父母にとっては、自分の命に代えても守ろうとする宝物なのです。みんな、一人一人それぞれの幸せを求めて、限りある人生を一生懸命生きているのです。そんな人を笑ったり、からかったり、無視したりする権利など誰にもないのです。

生きていく上で大切なことは何だろうといつも考えています。それは、心だと思います。心の優しさだと思っています。頭を鍛え、体を鍛え、そして、優しい心をもっともっと大きくしてほしいと願っています。学校から「なぐる」、「ける」、「たたく」、「無視する」等の暴力がへり、相手の心に突き刺さる「ちくちく言葉」が減り、自分も相手もほっとする「あったか言葉」がもっともっとふえるようがんばりましょう。そして、毎日一人一人が「わくわく登校、にこにこ下校」できる学校をみんなで創っていきましょう。

平成27年8月21日(金)

長岡小 校長 山澤 勉